

# 大学生向けロボットSier特別講座について

F A・ロボットシステムインテグレータ協会

# 大学生向けロボットSier特別講座の目的

## 自動化・ロボットシステム導入は社会課題解決の一つのキー

しかし...

「ロボットシステムインテグレータ」という職業・業界が知られていない

市場拡大が見込まれる業界だが  
圧倒的な人手不足

若手が楽しく活躍できるフィールドだと知られていない

大学生向けに現役システムインテグレータが講義を行い、以下を実現したい

- ・ロボットシステムインテグレータ認知度向上
- ・魅力的な就職情報の提供
- ・ロボットシステムインテグレーション業界への就業人口増加

# 企画背景

<p><b>市場</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人気就職先業種はIT系エンジニアが上位</li> <li>・高度技術者の海外流出</li> <li>・ものづくり現場の職人減少、高齢化</li> <li>・「ロボット」と言えば大手メーカーorサービスロボットのイメージ</li> </ul>
<p><b>大学</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動化業界を正しく把握している先生、学生が少ない</li> <li>・学んでいることがどのように実社会で活かされるかイメージが湧きにくい</li> <li>・就職後にどのような面白みがあるのか不鮮明</li> </ul>
<p><b>ロボット Sler</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボット利活用専門家であることを世の中に伝えられていない</li> <li>・大手企業のような大規模採用活動を行う余力がない</li> <li>・見た目は地方の中小企業</li> </ul>

**現場の自動化・DXに関するプレイヤーについて  
正しい情報が伝わっていない**

# キープoint

## リアルな接点

### Sier業界と学生が直接接点を持つことで

- ・業界の正しい情報を伝えることができる
- ・Sierの現場の声をリアルに伝えられる
- ・Sierで成し遂げられること、仕事の面白みを伝えることができる
- ・必要な知識や能力に対する学修意欲の向上につながる

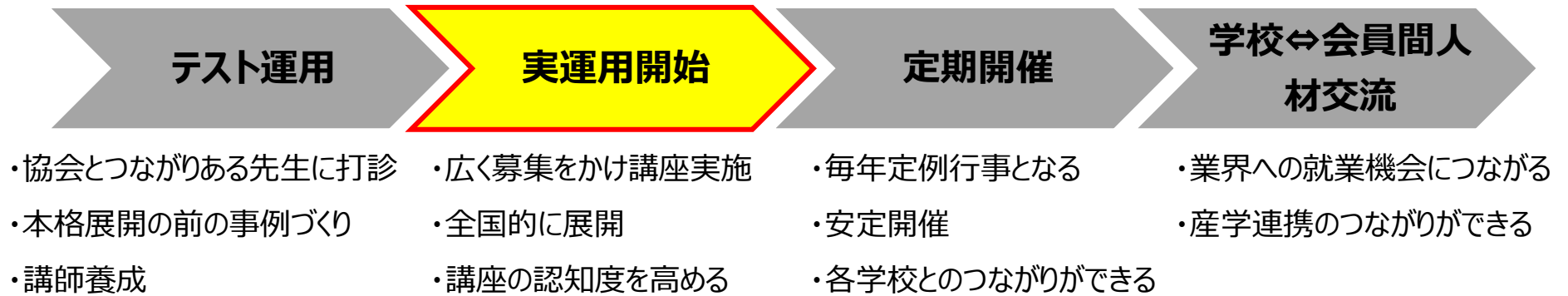


## 定期的な接点

### 定期的、継続的な接点を持つことで

- ・産学のつながり、関係性の強化
- ・最新の業界動向を伝えることができる
- ・現場感覚と動向変化の理解促進
- ・ロボットSI人材の拡大
- ・ロボットSI文化・技術の継承

# 具体的施策としてスタート



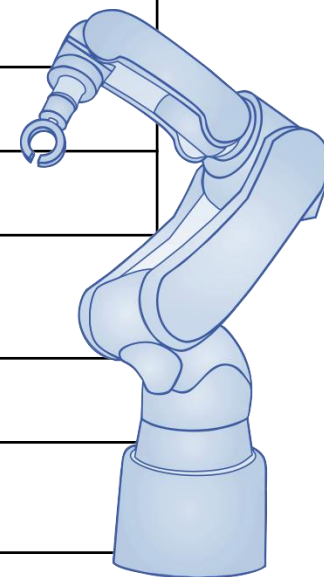
- ・ロボット学会様メール配信システムにて募集通知
- ・ロボット学会様HP「ロボ學」への記事掲載
- ・ロボット工業会関連研究室への募集通知
- ・協会会員企業とつながりある大学への広報

**5校にて7回開催**  
**約450名の**  
**学生の皆さんにリーチ**

# 製造現場の自動化・ロボット導入のエキスパート ロボットシステムインテグレータ特別講座のご案内

現役のロボットSierが各大学へ出張して講義を行います。（※現在はオンラインメイン）  
 普段の授業の1コマとして、就職セミナーとして、先生方のご要望に合わせた形で講義を行います。  
 講師は経営者から現場担当者まで幅広く対応しています。

講義内容	産業用ロボットにまつわる製造業全体の概要 ロボットSierの仕事内容 ロボットSierの魅力 学校での学習内容とロボットSierの仕事のつながり （※ご要望により講義内容の追加等も可能です。）
講義時間	授業内の1コマ程度（60分～100分）
講師	Sier協会認定講師（現役ロボットSier）
講義資料	基本構成は協会テンプレート、PDF資料配布可
講義方式	基本は学校へ訪問しての講義、状況によりWEB会議システム利用 授業内だけでなく、就職セミナー等の特別講義としても承ります。
講義料	無料 ※カリキュラム内容や開催方式により有償になる場合がございます。
申込方法	FA・ロボットシステムインテグレータ協会事務局 担当：森川までご連絡ください TEL 03-3434-2948 E-mail <a href="mailto:sier@jara.jp">sier@jara.jp</a>



# 受講者の感想

※機械工学科 ロボット工学 3年生向けの講義レポートより抜粋

顧客に深く寄り添い、専門的な知識を使って問題を解決するロボットSierの存在は、多くのニーズを叶えることができる魅力的な職業だと感じました。



将来必要ではないだろうと判断し、興味のない授業は手を抜くこともありました。しかし、ロボットSierになるには複合的な知識が必要と知り、それモチベーションに今後は勉強を頑張ろうと思います。

やりたい職業に就職するか、安定した職業に就職するかで自分はこの講義を通してやりたい職業に就職したい気持ちの方が強くなりました。

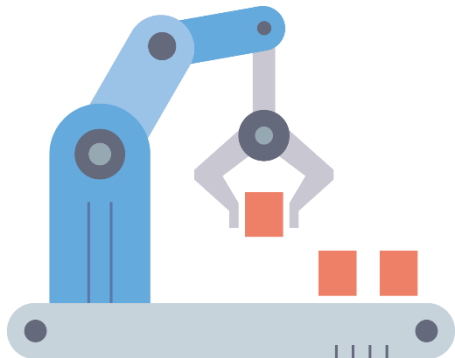
“働くこと”をリアルに考えた時どんな選択肢があるのかを知りたかった私にとって、今回の授業は一つ視野を広げてくれるものでした。



# 受講者の感想

※機械工学科 2 年生向けの講義レポートより抜粋

様々な分野を学んで、そこで学んだことを総動員して行うロボットsierの仕事は面白そうだったと思った。大学で学んでいることが現場で実際にどのように生かされているのか知ることのできる良い機会だった。



ニーズに合わせたロボットを提供していくには、ロボットの知識を幅広く理解し、その知識を組み合わせる必要がある。今まで自分が作ってみたい機械に必要な分野にしか興味を持っていなかったが、需要に合わせたロボット開発をするならば、それではいけないなと改めて感じた。

仕事内容を聞き、膨大な知識量とそれを応用できる力が必要だと感じた。これまで授業を受けてきたが、この調子で卒業を迎えたら社会に出ても何も役に立たない人材となってしまう、そのような焦りが自分の中に生まれた。

ロボットを活用した製造ライン構築の仕事を担当すると分かり、その想像以上に具体的で専門的な仕事内容に驚いた。第一線で活躍してきた人の話を直接聞くことができたので、今後の自分の進路についてもイメージを持つことができました。





ロボットシステムインテグレータ講座開催へ  
ご協力の程よろしくお願いいたします。